

令和6年度

『地域のプラットフォーム』としての更なる「^{しんか}深化×進化」

地域密着型金融の具体的な取組み



目次

はじめに

1. 求められる役割と具体的施策
2. 事業者への本業支援
3. 具体的な取り組み事例
4. 地域経済の活性化に向けた金融仲介機能の発揮について
5. かぬましんきんSDGs宣言
6. 信用金庫役職員に求められること

はじめに

鹿沼相互信用金庫の概要

令和7年3月末現在

設立	大正14年10月27日		
所在地	鹿沼市上田町2331番地		
理事長	橋本 公之	役職員数	171名
預金残高	2,259億円	貸出金残高	1,066億円
店舗数	12店舗	主な営業エリア	鹿沼市、宇都宮市、日光市、栃木市

地域の概要

	鹿沼市	日光市	宇都宮市	栃木市
人口	90,255	74,750	510,929	152,275
世帯数	37,027	36,621	241,460	68,104
事業所数	4,259	3,853	20,953	6,417

【典拠】

人口・世帯数統計：各市HP推計人口直近データ等
事業所数：経済センサスデータ等



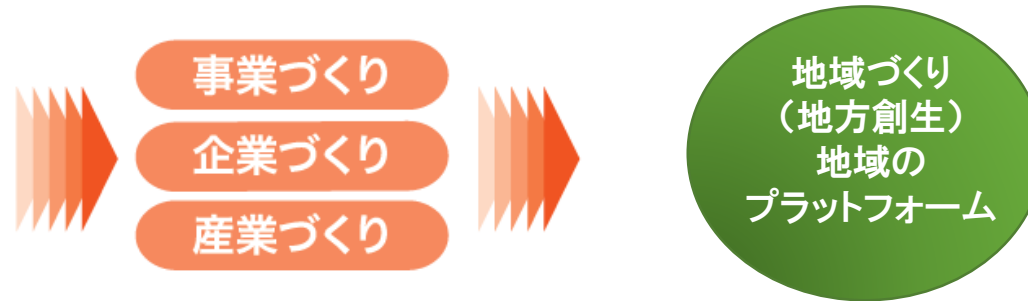
1. 求められる役割と具体的施策

(1) 地域密着型金融推進の3つのテーマ

- ① 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮
- ② 地域の面的再生への積極的な参画
- ③ 地域やお客さまに対する積極的な情報発信

(2) 地域のプラットフォームを目指した4つの具体的施策

- ① 広域連携
- ② 産学官金の連携
- ③ 外部専門機関の活用
- ④ 地域金融の円滑化



(3) 地方創生への参画・貢献

- ① 地方版総合戦略（地方創生）への協力
- ② 企業の経営課題解決への支援

1. 求められる役割と具体的施策

(4) 地域経済活性化への取組概要図

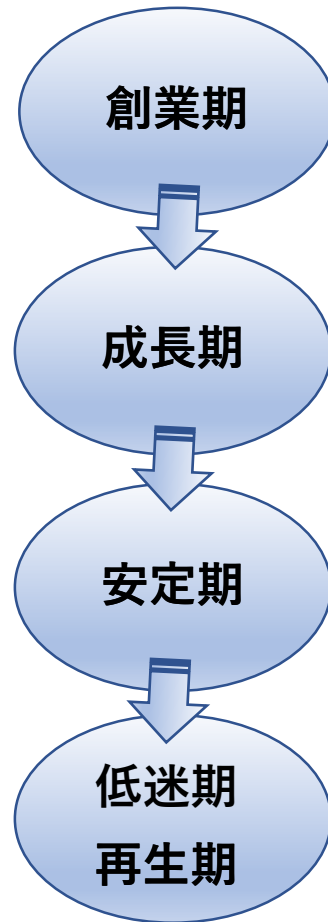
事業づくり、企業づくり、産業づくりをとおして地域づくりを担う地域のプラットフォームを目指します。



2. 事業者への本業支援

当金庫では、「地域のプラットフォーム」として事業者さまの経営課題に対し、事業フェーズに応じた支援を提供することで、地域から選ばれる金融機関を目指しています。

事業フェーズに応じたソリューション相談件数 【令和6年度実績】 409件



創業・第二創業支援	25件	
人材確保支援	19件	
販路拡大支援・ビジネスマッチング	120件	
S D G s 取組支援	45件	
キャッシュレス化支援	4件	
金融デジタル化支援	94件	
生産性向上 業務効率化 省人化・省力化	補助金申請 I T ・ D X 化 脱炭素・G X 化	34件
事業承継・M & A	68件	

2. 事業者への本業支援

◆ お客さまの実情に応じた資金繰り支援

お客さまとの面談により、事業性評価を行い、業況・事業内容を把握し、新たな企業価値を見出し向上させることで過度に担保に依存しない資金供給の円滑化に取り組んでいます。

◆ 各種公的支援制度(補助金等)を活用した中小事業者の経営課題解決支援

令和6年度実績	支援件数
事業再構築補助金申請支援	3件
ものづくり補助金申請支援	4件
省力化投資補助金申請支援	3件
事業承継計画書策定支援	15件

◆ 中小企業者の販路拡大支援、販売促進支援

■ 販路拡大支援

- ・各信用金庫と連携した各種リアル・WEB商談会等を活用した販路拡大支援
- ・しんきん地域創生ネットワーク株式会社が提供する地域商社事業を活用した地域産品のブラッシュアップ
- ・信金中央金庫提供のビジネスマッチングサイト「しんきんコネクト」を活用した商談機会の創出

■ 海外販路開拓支援

- ・信金中央金庫が提供する「EN-MUSUBI」を活用した海外マーケティング・物販支援

2. 具体的な取組事例

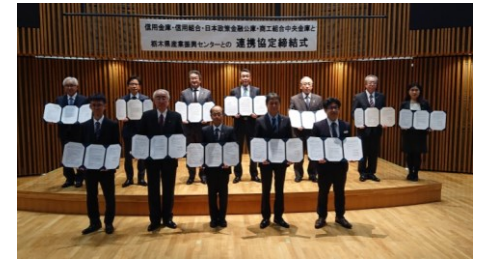
◆ 中小企業の人材確保支援

■ パーソルホールディングス株式会社、株式会社リクルートとの業務提携による新卒・中途人材支援

■ E S U H A I との業務提携による海外人材支援

■ 栃木県産業振興センターと当金庫を含む県内6信金、2信組、日本政策金融公庫、商工組合中央金庫との業務提携による「栃木県プロフェッショナル人材戦略拠点」を活用した高度人材、副業・兼業人材支援

■ 東京東信用金庫との共催による「新現役交流会」の開催
経営課題を抱える取引先事業者様と、大手企業や研究機関を退職した実務経験を退職した実務経験豊富な人材とのマッチング交流の場を創出しました。



◆ 原油価格・燃料高騰に対する支援

■ 令和5年3月1日より、ETCカード発行事業者である道央情報サービス共同組合と業務提携し、事業者を対象とした高速道路利用料金割引サービスの活用支援を開始しております。

3. 具体的な取組み事例 広域連携

◆ 信用金庫や地域金融機関ネットワーク活用による販路拡大

■ 信用金庫の連携によるビジネスフェア・交流会等への参加

令和7年3月現在



実施時期	内容	参加企業
令和6年5月22日～28日	北千住マルイ 日光街道・日光西街道フェア	取引顧客9社参加
令和6年7月12日	当金庫・東京東信用金庫共催 ひがしん新現役交流会	取引顧客2社参加
令和6年7月19日	当金庫・会津信用金庫共催 食と観光の個別商談会	バイヤー-21社 サプライヤー-39社参加
令和6年11月14日	東北地区信用金庫協会主催 ビジネスマッチ東北2024	取引顧客5社参加 (バイヤー2社含む)
令和6年11月17日	東京東信用金庫主催 ひがしんビジネスフェア2024	取引顧客2社参加
令和6年12月3日～4日	城南信用金庫 2024よい仕事おこしフェア	取引顧客1社参加
令和7年2月3日	日光市主催 日光食の魅力と観光PR商談会	取引顧客13社参加
令和7年3月29日～30日	足立成和信用金庫 舎人公園千本桜まつり物産展	取引顧客2社参加

■ 栃木県内金融機関、栃木県との連携によるビジネスフェア・交流会等

令和7年3月現在

令和6年8月21日～22日	アグリフードEXPO東京2024	主催：日本政策金融公庫	取引先顧客1社参加
令和6年11月21日	ものづくり企業展示・商談会	主催：足利銀行 共催：県内信金・信組	取引先企業14社参加

■ 信金中央金庫によるビジネスマッチングの活用

- ・信金中央金庫が提供するビジネスマッチングサイトしんきんコネクトへの企業情報登録支援
- ・しんきんコネクトを活用した大手バイヤーとの「プレミアム商談会」への参加登録支援

3. 具体的な取組み事例 広域連携

◆ 互いの信用金庫の持つ特性を活かした連携による地域・お客さまの支援

■ 東京東信用金庫との業務提携基本協定の締結

締結日 平成27年12月16日
ビジネスフェアへの出展協力、新現役交流会の共催
経営者の会の相互交流など

■ 会津信用金庫との観光振興連携協力に関する連携協定の締結

締結日 令和元年7月1日
両金庫の営業エリア（東武鉄道、野岩線沿線エリア）における相互協力など
観光、インバウンド誘致に伴う相互協力、交流人口、観光消費拡大に資する事業
その他の地域活性化に資する事業など

■ 川口信用金庫・会津信用金庫との相互地域内への観光誘致、 およびビジネスマッチングの推進に関する連携協定の締結

締結日：令和4年11月29日、
三者間による相互地域内への観光誘致、およびビジネスマッチングの協力など

■ 足立成和信用金庫・会津信用金庫との 取引先事業者への支援および地域活性化に向けた取組みかかる連携協定の締結

締結日 令和5年7月18日
三者間による御宿場印プロジェクトを核とした観光振興、ビジネスマッチング、地域創生に関する協力など



3. 具体的な取り組み事例 広域連携

◆ 「日光街道・日光西街道 御宿場印プロジェクト」について

令和3年7月より、鹿沼相互信用金庫が、足立成和信用金庫、足利小山信用金庫、結城信用金庫と共同で開始した事業であり、日光街道・日光西街道沿いの宿場町を「御宿場印」として表現し、各地の観光協会等で販売を開始しました。「御宿場印」を集めることで、マイクロツーリズムによる活性化策として展開しています。

◆ 「会津西街道 御宿場印プロジェクト」について

「日光街道・日光西街道御宿場印プロジェクト」を延伸して、より一層、首都圏からの観光誘客を図るため、会津信用金庫と連携してプロジェクトを開始し、令和4年5月より日光市観光協会、会津観光ビューローが指定する宿場等での販売を開始しました。

◆ 「奥州街道 御宿場印プロジェクト」について

烏山信用金庫、大田原信用金庫、足利小山信用金庫及び福島県下の信用金庫と連携して「日光街道・日光西街道御宿場印プロジェクト」を起点に「宇都宮宿」を北上し、白河の関を超えて「白坂宿」から「貝田宿」までの32宿場において、令和5年10月より各地の観光協会等での販売を開始しました。

◆ 地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」にかかる内閣官房表彰の受賞

鹿沼相互信用金庫、足立成和信用金庫、会津信用金庫等による「御宿場印プロジェクト」が先進的な取組みを行った事例として、令和5年3月13日に内閣官房より表彰を受けました。



3. 具体的な取組み事例 産学官金連携

◆ 地方創生への取組み 地方版総合戦略(地方創生)への協力

■ 鹿沼市との連携・取組み

- ・ 鹿沼市、しんきん地域創生ネットワーク株式会社、鹿沼相互信用金庫は、令和3年8月に鹿沼市における観光振興を通じた地域活性化を目的として、地方自治体向け「地方創生コンサルティング事業」にかかる業務委託契約を全国で初めて締結しました。
- ・ 鹿沼市、しんきん地域創生ネットワーク株式会社、鹿沼相互信用金庫の三者間において、鹿沼市観光施設の活性化や第3セクターへの提言等、地域活性化に向けた取組みを継続しています。
- ・ 令和5年7月20日、鹿沼市、鹿沼相互信用金庫と、三井住友海上火災保険株式会社は、SDGs推進に関する地域的な意識醸成を図り、持続可能な地域創生への取組みを実施していくため、三者間による連携協定を締結しました。

■ 日光市との連携・取組み

- ・ 平成27年5月より「日光市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進協議会」委員として当金庫より職員を派遣しています。
- ・ 令和2年4月2日に、「日光市と民間企業との協働に関する提案募集制度」を活用し、「よい仕事おこしフェア実行委員会」の協賛金庫である当金庫が仲介して、日光市と「よい仕事おこしフェア実行委員会」との間で、地域の活性化と産業の振興を図るための包括的連携協定を締結しました。
- ・ 「スマートワークライフ#NIKKO」へ参画し、ワーケーション及びサテライトオフィス等の誘致を通じた新しいビジネスの創出に取り組んでいます。

3. 具体的な取組み事例 産学官金連携

◆ 公共団体・商工会団体・大学などを活用した地域活性化

① 国がすすめる「地域プラットフォーム」事業への参画

- 「かぬま広域支援ネットワーク」(鹿沼商工会議所代表機関)
- 「とちぎ未来創造カンパニー」(宇都宮商工会議所代表機関)

② 産業競争力強化法に基づく取組み

- 栃木県事業承継・引継ぎ支援センターとの認定登録支援機関としての連携強化
- 「かぬま創業支援ネットワーク」参画

③ 栃木県との連携

- 「知的財産ビジネスマッチング交流会」後援

④ 鹿沼市との連携

- 鹿沼市花木センターの中期経営計画書作成支援
- 鹿沼市企業支援センターへの参画
- 地方創生ならびにSDGs推進に係る「包括連携協定」締結

⑤ 日光市との連携

- 「日光市ビジネス交流会事業」協力
- 「日光市観光推進協議会誘客推進部会」協力
- 「日光市創新塾」参加

⑥ 鹿沼商工会議所との連携

- 「事業承継バトンタッチ支援隊事業」参画
- 「包括連携協定」締結(令和元年11月5日)
- 「かぬま創業塾」の共催

⑦ 粟野商工会との連携

- 「包括連携協定」締結(令和元年12月2日)

⑧ 日光商工会議所との連携

- 「包括連携協定」締結(令和3年4月16日)

⑨ 宇都宮大学との連携

- 「宇都宮大学産学官金コーディネーター」委嘱

⑩ 大学コンソーシアムとちぎ・産学官連携サテライトオフィスとの連携

- 「学生&企業研究会」協賛後援
- 大学研究機関が持つシーズを活用した取引先企業の課題解決

⑪ 栃木県産業振興センター知的財産支援センターの活用

- 特許知財をもとにした取引先企業の事業評価書作成支援

⑫ 産学官金連携サテライトオフィス

- 事業者への新製品・新技術・建築工法の効果検証、特許取得支援など

⑬ 「かぬましんぎん経済セミナー」の開催

- 経営者の会「かぬましんぎんビジネスクラブリアン〜絆〜」と共催し産学官と連携した経済セミナーの開催(令和7年3月11日)

3. 具体的な取組み事例 産学官金連携

◆ 外部専門機関と連携した中小事業者支援

創業支援

かぬま創業支援ネットワークと連携し、令和5年度においても鹿沼商工会議所が主催する「かぬま創業塾」に参画し、創業希望者へのアドバイスおよび資金繰り支援を行いました。

令和4年3月、クラウドファンディング事業者「(株)CAMPFIRE」と業務提携し、クラウドファンディングによる、スタートアップ事業者の資金調達および商品テストマーケティング等の支援を開始しました。

事業転換・再構築支援

令和5年1月、栃木県中小企業診断士会と業務提携を締結し、コロナ禍の影響を受け、事業転換・再構築を図る事業者様に対し、高度な知見に基づいたアドバイス、および各種補助金の申請支援を開始しました。

事業承継支援

■「栃木県事業承継・引継ぎ支援センター」の活用による事業承継支援

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談実績	20	38	42	71	95

(件数)

■ 栃木県事業承継・引継ぎ支援センターと連携した事業承継支援実績

- ・ 親族内・従業員承継計画の作成支援 15件
- ・ M&A支援 48件

3. 具体的な取組み事例 産学官金連携

■各経済団体との連携による事業承継支援

令和2年度より鹿沼商工会議所と連携し、「バトンタッチ支援隊」の活動を通して事業者の経営課題の掘り起こしに取り組んでいます。令和3年4月には、日光商工会議所とも包括連携協定を締結し、事業者への訪問活動を開始しました。

< 令和6年度実績 > 商工団体名	情報交換会	訪問回数	訪問件数
鹿沼商工会議所 「バトンタッチ支援隊」	実施	17回	68回
日光商工会議所	実施	5回	20回
栗野商工会	実施	—	—

■鹿沼商工会議所の日本商工会議所による事業活動表彰の受賞

当金庫と鹿沼商工会議所が連携して推進している「バトンタッチ支援隊」の活動について、地元信用金庫と会議所が二人三脚で事業者を訪問し、経営課題の掘り起こし、および事業承継支援に取り組んでいる好事例として、令和5年3月16日、鹿沼商工会議所が日本商工会議所から「事業活動表彰」を受賞しました。

SDGs取組支援

企業のイメージアップ・ブランド力の向上!

SDGs取組支援サービス

地域企業のSDGsへの取組みを可視化し、課題を明示、SDGsへの活動をご支援します。

- SDGsへの取組状況をヒアリング、専用のフィードバックシートにより評価結果を還元します。
 - ヒアリングは、「人・物・情報」「環境」「社会」「ガバナンス」「製品・サービス」「地域貢献」の5つのカテゴリからなるチェックシートにより行います。
 - SDGsの取組状況を評価したフィードバックシートを還元し、「強み」「弱み」を明らかにします。
- 評価で明らかとなった課題のソリューションを提供します。
 - 「SDGsサポートリスト」をもとに、課題解決に向けたソリューションを提供します。

※「チェックシート」フィードバックシートは、三井住友海上火災保険株式会社およびM&Aアドバイザーが協賛する企業を対象に提供しています。提供するソリューションは、特定のソリューションを含みません。
※本サービスの申し込みにより、地方公共団体等が行っている認証・登録制度等の取得を促進するものではありません。

令和5年3月に三井住友海上火災保険株式会社と提携し、地域事業者様のSDGsの取組支援サービスを開始しました。

中小事業者の中長期的な視点に基づいた「持続可能な開発目標」への取組みを推進し、その取組内容を明文化した「SDGs宣言書」の発行、栃木県SDGs推進企業への認証登録などの支援に取り組んでいます。

令和5年度	令和6年度
129社	45社

3. 具体的な取組み事例 外部機関

◆関東経済産業局が進める「金融連携プログラム」等の活用

関東経済産業局・栃木県・鹿沼市による中小企業支援補助金・制度の活用

事業再構築補助金			ものづくり補助金			省力化投資補助金
令和4年度まで	令和5年度	令和6年度	平成30年度～令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度(第1回)
1次～8次	9次～11次	12次	14次～17次	18次		
申請56件 採択29件	申請5件 採択4件	申請2件 採択1件	申請53件 採択29件	申請8件 採択7件	申請2件 採択1件	申請3件 採択2件

栃木県事業承継支援補助金		経営力向上計画	先端設備導入計画
令和4年度～5年度	令和6年度	令和元年度～6年度	令和元年度～6年度
3件	1件	9件認定	27件認定

提携支援機関との連携

■専門家・提携機関の派遣等による支援

- ・栃木県産業技術センター1件
- ・栃木県よろず支援拠点15件
- ・栃木県信用保証協会3件
- ・信金中央金庫16件
- ・株式会社サクシード15件
- ・リコージャパン株式会社3件
- ・株式会社TMC3件
- ・しんきんリース株式会社2件

3. 具体的な取組み事例 地域金融円滑化

地域企業支援検討会の開催による資金繰りの支援

年度	件数	金額（単位：百万円）
令和4年度	441	7,072
令和5年度	397	6,190
令和6年度	438	6,377

令和6年度 地域創生応援資金の活用

【支援実績】

- 創業および新事業開拓資金（創生起含む） 13件 84百万円
- 地域支援資金（新・ちから） 9件 20百万円
- 農業者向け資金（ハーベスト） 6件 22百万円
- 短期継続運転資金（ワンナップ） 7件 140百万円

専門的な人材の育成

- 宅地建物取引士 4名
- CFP 1名
- AFP 5名
- FP技能士1級 1名
- FP技能士2級 20名
- FP技能士3級 30名
- 介護福祉経営士 1名
- 農業経営アドバイザー 3名
- 動産評価アドバイザー 1名
- 事業承継・M&Aエキスパート 1名
- M&Aシニアエキスパート 1名

令和6年度 栃木県・各市制度融資の活用

【支援実績】

- 鹿沼市 107件 661百万円
- 日光市 35件 251百万円
- 宇都宮市 24件 170百万円
- 栃木県 47件 393百万円

※コロナ・原油原材料高騰関連融資は除く

4. 地域経済の活性化に向けた金融仲介機能の発揮について （「金融仲介機能のベンチマーク」を活用した当金庫の取組状況）

金融仲介機能のベンチマーク



鹿沼相互信用金庫は、「地元の繁栄なくして金庫の発展はない」という経営理念を掲げ、これまでの地方創生や地域活性化に積極的に取り組んでまいりました。

特に、平成26年度からは、「地域のプラットフォームとしての取組み」（※1）を当金庫の最重要課題に定めて、お客様の課題解決支援への取組みを強化しております。

こうしたなか、金融庁は、全ての金融機関が金融仲介機能の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「金融仲介機能のベンチマーク」（※2）を公表しております。

鹿沼相互信用金庫は、このベンチマークを効果的に活用しながらお客さまのニーズや課題に積極的に取組み、地域経済の活性化に向けた金融仲介機能を発揮してまいります。

（※1）「地域のプラットフォームとしての取組み」とは

鹿沼相互信用金庫は、地域の「事業づくり」「産業づくり」を通じた「地域づくり」を目指しており、全てのお客さまの相談場所としての「地域のプラットフォーム」となることを最大の経営課題として諸施策に取り組んでおります。

（※2）「金融仲介機能のベンチマーク」とは

平成28年9月、金融庁は、全ての金融機関が金融仲介の取組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能な「共通ベンチマーク」（5項目）と、各金融機関が自身の事業戦略やビジネスモデル等を踏まえて選択できる「選択ベンチマーク」（50項目）を公表しております。

また、これらに加えて、独自の指標として、「独自のベンチマーク」があります。

4. 地域経済の活性化に向けた金融仲介機能の発揮について (「金融仲介機能のベンチマーク」を活用した当金庫の取組状況)

金融仲介機能のベンチマークへの取組方針について

鹿沼相互信用金庫では、毎年、事業計画を策定しており、その中で営業戦略を定めております。
 この営業戦略に基づき、「金融仲介機能のベンチマーク」に掲げられた項目のうち業務運営の結果を的確に把握、分析、自己評価するために必要と判断した項目について選択し、とりまとめております。

選択した項目のうち、現時点でお客さまに開示するにふさわしいと判断したベンチマークについて、以下のとおり抜粋して開示いたします。

イ「共通ベンチマーク」から選択したベンチマークは、①～②の2項目です。

		令和5年度				令和6年度			
取引先企業の抜本的 事業再生等による 生産性の向上	①当金庫が貸付の条件変更を行っている中小企業の 経営改善計画の進捗状況 (共通ベンチマーク2.)	条件変更先 33先	好調先 16先	順調先 12先	不調先 5先	条件変更先 29先	好調先 11先	順調先 10先	不調先 8先
	②当金庫が関与した創業、第二創業の件数 (共通ベンチマーク3.)	創業件数 17件		第二創業件数 0件		創業件数 12件		第二創業件数 1件	

ロ「選択ベンチマーク」から選択したベンチマークは、③～⑥の4項目です。

本業(企業価値の向上) 支援・企業のライフ ステージに応じた ソリューションの提供	③販路開拓支援を行った先数(地元・地元外・海外別) (選択ベンチマーク18)	ビジネスフェア 等出展先 37先	個別商談・ブース商談 紹介先 205先	ビジネスフェア 等出展先 73先	個別商談・ブース商談 紹介先 189先
	④事業承継支援先数 (選択ベンチマーク21)	事業承継支援先 71先		事業承継支援先 95先	
人材育成	⑤取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、 研修等への参加者数、資格取得者数 (選択ベンチマーク39)	研修会の実施 4講座 72名	各種資格者 62名	研修会の実施 4講座 84名	各種資格者 68名
他の金融機関及び中小 企業支援策との連携	⑥取引先の本業支援に関連する中小企業支援策の 活用を支援した先数 (選択ベンチマーク43)	・外部機関活用先 106先 ・ものづくり補助金(14次～17次) 申請件数8件・採択件数7件 ・事業再構築補助金(9次～11次) 申請件数5件・採択件数4件		・外部機関活用先 113先 ・ものづくり補助金(18次)申請2件・採択1件 ・事業再構築補助金(12次)申請2件・採択1件 ・省力化投資補助金 申請3件・採択2件	

ハ「独自ベンチマーク」から選択したベンチマークは、⑦の1項目です。

広域連携による 観光誘客	⑦信用金庫のネットワークを活用した観光誘客の 推進(件数・人数)	令和5年5月 鹿沼・日光モニターツアー34名 令和5年9月～11月 信用金庫連携による5信 金のツアー誘客534名	信用金庫連携による団体旅行の受入れ及び観光モ ニターツアーの実施(6金庫 1,541名)
-----------------	-------------------------------------	---	---

5. かぬましんきんSDGs宣言

かぬましんきんSDGs宣言



かぬましんきんは、国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、地域のプラットフォームとして、豊かな地域社会の実現に向けて様々な活動を行なっています。

地域のプラットフォーム 鹿沼相互信用金庫

1. 地域経済の発展

- 外部機関との連携による中小企業の経営支援
- 信用金庫のネットワークを活かした販路拡大支援・観光振興への取組み
- 互いの信用金庫と連携した地域の支援
- 地方再生への取組み
- 創業・新事業支援
- 事業承継支援
- 中小企業の人材支援



2. 地域社会への貢献

- お客様組織を通じた地域との絆づくり
- 地域行事への積極的な参加
- 地域の図書充実への協力
- 「小さな親切」運動への参加



3. 地域社会の環境保全

- 環境問題に配慮した融資商品の取扱い
- 環境負荷低減に向けた取組み
- 環境改善に向けた取組み



5. 安心できる地域社会の実現

- 金融犯罪撲滅へ向けた取組み
- 反社会勢力の排除に向けた取組み



4. 地域を担う人材づくり 働きがいのある職場づくり

- 大学機関、商工団体等と連携した地域の未来を担う人材づくり
- 女性躍進、子育て支援等を通じた働きがいのある職場づくり



6. 信用金庫役職員に求められること ～地域創生のリーダーを目指して～

企業・個人のお客さまに長く寄り添い、「お客さま本位の営業」に徹し、「お客さまと共通の価値」を創造し、ともに「発展」する。

■ 中長期的な取組み

地域社会の持続的な発展に貢献する

■ 短期的な取組み

貢献するために必要な収益と取引基盤を確保する

■ 組織を活用する

全役職員がいきいきとその力を発揮できる金庫を創る

地方創生への積極的な関与

地域経済の活性化

経営基盤の強化

5年・10年先を見据えた課題

- ①金融仲介機能の質の改善に向けた取組み
- ②地方創生に向けた金融仲介の取組みに係る多様なベンチマークの検討
- ③事業性評価およびそれに基づく解決策の提案・実行支援
- ④持続可能なビジネスモデルの構築およびビジネスモデルに起因するリスクへの対応
- ⑤持続可能性を支える経営管理体制の強化